



# Caché に関するよくある質問

Version 5.1

2006-03-14

Caché に関するよくある質問

Caché Version 5.1 2006-03-14

Copyright © 2006 InterSystems Corporation.

All rights reserved.

このドキュメントは、Sun Microsystems、RenderX Inc.、アドビ システムズ および ワールドワイド・ウェブ・コンソーシアム (www.w3c.org) のツールと情報を使用して、Adobe Portable Document Format (PDF) で作成およびフォーマットされました。主要ドキュメント開発ツールは、InterSystemsが構築したCaché と Javaを使用した特別目的のXML処理アプリケーションです。



Caché 製品とロゴは InterSystems Corporation の登録商標です。



Ensemble 製品とロゴは InterSystems Corporation の登録商標です。



InterSystems という名前とロゴは InterSystems Corporation の登録商標です

このドキュメントは、インターシステムズ社(住所: One Memorial Drive, Cambridge, MA 02142)あるいはその子会社が所有する企業秘密および秘密情報を含んでおり、インターシステムズ社の製品を稼動および維持するためにのみ提供される。この発行物のいかなる部分も他の目的のために使用してはならない。また、インターシステムズ社の書面による事前の同意がない限り、本発行物を、いかなる形式、いかなる手段で、その全てまたは一部を、再発行、複製、開示、送付、検索可能なシステムへの保存、あるいは人またはコンピュータ言語への翻訳はしてはならない。

かかるプログラムと関連ドキュメントについて書かれているインターシステムズ社の標準ライセンス契約に記載されている範囲を除き、ここに記載された本ドキュメントとソフトウェアプログラムの複製、使用、廃棄は禁じられている。インターシステムズ社は、ソフトウェアライセンス契約に記載されている事項以外にかかるソフトウェアプログラムに関する説明と保証をするものではない。さらに、かかるソフトウェアに関する、あるいはかかるソフトウェアの使用から起こるいかなる損失、損害に対するインターシステムズ社の責任は、ソフトウェアライセンス契約にある事項に制限される。

前述は、そのコンピュータソフトウェアの使用およびそれによって起こるインターシステムズ社の責任の範囲、制限に関する一般的な概略である。完全な参照情報は、インターシステムズ社の標準ライセンス契約に記載され、そのコピーは要望によって入手することができる。

インターシステムズ社は、本ドキュメントにある誤りに対する責任を放棄する。また、インターシステムズ社は、独自の裁量にて事前通知なしに、本ドキュメントに記載された製品および実行に対する代替と変更を行う権利を有する。

Caché および InterSystems Caché、Caché SQL、Caché ObjectScript および Caché Object は、インターシステムズ社の商標です。

ここで使われている他の全てのブランドまたは製品名は、各社および各組織の商標または登録商標です。

インターシステムズ社の製品に関するサポートやご質問は、以下にお問い合わせください:

InterSystems ワールドワイド カスタマサポート

Tel: +1 617 621-0700

Fax: +1 617 374-9391

Email: support@InterSystems.com

# 目次

Caché に関するよくある質問.....	1
一般 .....	1



# Caché に関するよくある質問

## 一般

使用中の Caché システムには、どのような継続的な保守管理が必要ですか？

あまり必要ありません。

Caché の既定の構成パラメータにより、ご使用のシステムの負荷を動的に調節することができます。例えば、データベースは自動的に拡張するので、ユーザは **CACHE.DAT** ファイルがディスクに満杯になっていないことを確認するだけです。

データベースと同じように時間外に定期的に整合性チェックを実行するように、習慣づけるといいでしょう。Caché で使用されているすべてのデータ構造は、自動的に自身で均衡を保つため、データベースの再編成やデフラグは必要ありません。

Caché コントロール・パネルのエラー・ログを毎日確認して、何も問題が発生していないことを確認します。

Caché システムを終了させる必要があるのはどのようなときですか？

コンピュータをシャットダウンする必要がないとした場合、Caché のみを再開してグローバル・バッファやルーチン・バッファを増やします。大半の構成オプションは動的で、中断されるプロセスはありません。ライセンスは進行中に変更することができます。Caché の新バージョンを新規のインスタンスとしてインストールする際は、ユーザは都合のよいときに新規のインスタンスに切り替えることができます。

他のデータベースでは、定期的にシステムを終了させる必要があります。Caché ではどうでしょうか？

他の箇所でも説明されているように、Caché によって使用されるすべてのデータ構造は自身で均衡を保つように構成されており、長時間使用し続けてもパフォーマンスが低下することはありません。パフォーマンスを回復するために、システムを終了してデータやインデックスの再構築や圧縮を行なう必要はありません。

使用中の Caché システムでディザスタ・リカバリをセットアップしたいのですが、どうすればよいのでしょうか？

詳細は、“Caché 高可用性ガイド” を参照してください。

Caché は、どのようなジャーナルを保持するのですか？

イメージ前と、イメージ後のジャーナルを保持します。コンピュータがクラッシュした場合、データベース構造はイメージ前のジャーナルを適用することで保護されます。実行されたトランザクションは、必要ない場合でも、イメージ後ジャーナルから自動的にロールフォワードされます。実行されていないトランザクションは、イメージ後ジャーナルからロールバックされます。イメージ前ジャーナルは **CACHE.WIJ**、またはライト・イメージ・ジャーナルです。

ジャーナルに関する詳細は、“Caché 高可用性ガイド”を参照してください。

使用中の Caché データベースのバックアップを行う最適な方法は何ですか？

システム・バックアップには、複数の方法があります。詳細は、“Caché 高可用性ガイド”を参照してください。

Caché はすべてのタイプのシステム・シャドウイングをサポートしますか？

インターシステムズは、Caché シャドウ・ジャーナリングに備わっている、ディスク・ミラーリングのご使用を強くお勧めします。詳細は、“Caché 高可用性ガイド”を参照してください。

Caché システムは、エラーを記録しますか？

はい。しかしその記録を読む際には、注意が必要です。ログには、アプリケーションがタイムアウト付きで OPEN を実行して失敗した場合に発生する “No Such File” などの良性の情報、および関連する情報が含まれています。

Caché には、データベースの整合性チェック・ユーティリティはありますか？

もちろんです。コントロール・パネルで、データベースを右クリックしてください。データベースがアクティブの場合は、誤検出が報告される場合もあることに注意してください。

Caché システムが開始するとき、Caché は何を行いますか？ 開始時に整合性チェックなどを行いますか？

本質的に整合性チェックはありませんが、上記で説明したようなロールバックやロールフォワードが実行されます。